

次期米大統領「離脱」のトランプ氏 発効の見込みなし

TPP批准やめよ

米大統領選挙でTPP（環太平洋連携協定）に反対しているトランプ氏が
平等・互恵のルールづくりを
いまの「自由貿易」は、多国籍企業
の利益を損なっています。必要なのは、
各国の経済主権を尊重しながら、平
等・互恵の貿易の投資のルールづくり
です。TPP批准はやめるべきです。



公約と国会決議への違反はあきらま

TPP協定は、「TPP断固反対」という自
議にも明確に反します。
民主党の公約に真向から反します。「（重要農産
物で）無傷なものはない」と農水大臣が答弁す
るように、「重要農産物は除外」とする国会決
議にも明確に反します。
まして、交渉経過を一切明らかにせず、「黒
塗り資料」で国会と国民を欺いたままでの批
准など論外です。



©カクサン部!

TPP「百害あって一利なし」

TPPは農業問題だけではありません。協定
は24分野に関わり、その影響はあらゆる分野に
及びます。多国籍企業の利益拡大のじやまにな
る仕組みやルールは『非関税障壁』として撤廃
されます。国民にとって百害あって一利なしです。

- 遺伝子組み換え食品の表示が危うくな
り、食の安全が脅かされます。
- 外国の安い製品
や労働力が入
り、仕事や雇用
が奪われます。
- 医薬品の価格が高くなり、医療保険制
度が危うくなります。
- 外国企業や自治体の仕事が多国籍企業
に開放されます。
- 保険や共済の分野にアメリカ企業の参
入を許し、支配されます。



外国企業による内政干渉に道

外国企業が、進出先の政府などの政策で損害を被った
と判断すれば国際仲裁機関に訴え、損害賠償を請求でき
る——TPP協定にあるISD条項は、外国企業の投資
利益を最大の基準とし、暮らしや環境を守るルールをねじ
曲げ、国家主権をあからさまに侵害する仕組みです。

「最悪の協定」

(ノーベル賞学者)

ノーベル経済学賞を受賞
したアメリカの経済学者ス
ティグリッツ氏は、3月に
来日した際、「TPPは最悪
の協定。特定集団のための
『管理された』貿易協定だ
と厳しく批判しています。